

「産業技術実用化開発事業費補助金(次世代鋼材測定・評価手法開発)」
平成29年度 最終審査委員会

評価項目

1. 事業目的の達成度

「我が国企業の製造する部品の安全性・信頼性を向上させるため、鋼材品質の適正な評価を簡便に測定する手法を開発する」

2. 成果

①「測定・評価装置の開発」

目標：

測定範囲：1200ポイント以上

測定時間：120分以内

2D評価：硬さのばらつきと鋼材品質、硬さの異方性、材料の降伏応力値等との関係の評価を可能とする。

3D評価：3D形状評価を可能とする。

②「測定・評価手法の開発」

材料の良否の程度を推定する指標とその測定方法を提案できているか。

③「従来の使用鋼材における不良品と当該事業による測定結果との整合性」

圧痕の形状や分布より、材料中におけるばらつき状態とその最低値などを明らかにし、実績・経験的に歯車ユーザーが材料良否と認識していた概念と比較検討できているか。

3. 成果の活用、発展性

4. 我が国機械産業の品質の向上への寄与

5. 予算規模に対する成果の適正性

以上